

こんにちは 野々市市議会です



| | | |
|----------------------|---|-----|
| 令和元年度補正予算などを議決 | … | 2P |
| 各委員会の質問と主な答弁 | … | 3P |
| 総務産業・教育福祉常任委員会報告 | … | 4P |
| 12月定例会一般質問 10人が登壇 | … | 5P |
| 採択意見書及び議会運営委員会行政視察報告 | … | 15P |
| 3月定例会日程が決まりました | … | 16P |

※かねこ結納品店 金子壽太郎さんが、お正月用羽子板に水引細工鶴亀を取り付け作業中。
写真撮影：編集委員会メンバー（掲載に当たってはご本人の了解を得ています）

議会だより

24号

2020年(令和2年)

令和元年度 一般会計補正予算 心身障害者福祉費、児童福祉総務費など、 市民生活に関わる歳入歳出を補正 予算総額184億9,091万5千円となる

令和元年第5回12月定例会を12月3日から12月20日までの18日間の日程で開催し、粟貴章市長から提出された令和元年度一般会計補正予算をはじめとする議案12件のほか、議会議案1件を全員一致もしくは賛成多数で可決しました。

また、人権擁護委員の人事案件1件を全員一致で適任としました。

主な議案のうち、令和元年度一般会計補正予算において、母子保健費で不妊治療費助成や里帰り健診費用助成及び、心身障害者福祉費で障害者日常生活用具給付などの扶助費の増額分、児童福祉総務費で子育て支援医療費と母子生活支援施設措置費の増額分、また、財産管理費・地域情報化推進費で議会会派室設置に対する費用などを含めた歳入歳出1億8,232万2千円を追加し、予算総額を184億9,091万5千円とする補正予算を議決しました。

私は賛成・反対しました

議決結果一覧

令和元年12月定例会

○=賛成、×=反対 ※議長(中村 義彦)は採決に加わりません。

| 議案名 | 議決日 | 議決結果 | 梅野智恵子 | 朝倉雅三 | 小堀孝史 | 向田誠市 | 北村大助 | 馬場弘勝 | 安原透 | 西本政之 | 中村義彦 | 杉林敏 | 辻信行 | 早川彰一 | 土田友雄 | 大東和美 | 岩見博 |
|--|--------|------|-------|------|------|------|------|------|-----|------|------|-----|-----|------|------|------|-----|
| 議案第54号 令和元年度野々海市一般会計補正予算(第3号)について | 12月20日 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第55号 令和元年度野々海市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について | 12月20日 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第56号 令和元年度野々海市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について | 12月20日 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第57号 令和元年度野々海市介護保険特別会計補正予算(第1号)について | 12月20日 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第58号 公の施設の使用料見直しに伴う関係条例の整備に関する条例について | 12月20日 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 議案第59号 一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について | 12月20日 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第60号 野々海市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例について | 12月20日 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 議案第61号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について | 12月20日 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第62号 野々海市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について | 12月20日 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第63号 野々海市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について | 12月20日 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第64号 野々海市市道路占用料条例の一部を改正する条例について | 12月20日 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第65号 野々海市都市公園条例の一部を改正する条例について | 12月20日 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 諮問第2号 人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて | 12月3日 | 適任 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議会議案第5号 台風第19号をはじめとする、一連の台風・豪雨災害による被災者・被災地への支援強化を求める意見書 | 12月20日 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議会議案第6号 核兵器禁止条約への参加を求める意見書 | 12月20日 | 否決 | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | × | × | ○ | × | ○ | |

各委員会の質問と主な答弁

12月12・13・16・19日の4日間

予算決算・総務産業・教育福祉常任委員会

Q JR北口プラザにおいて行った改修工事の具体的な工事内容を伺う。

A 男子トイレの洋式1基、和式1基の修繕をした。洋式の1基については、流す操作をしていないが水が流れる、和式の1基については、流す操作をしても反応が鈍い状態が続くという現象が起こっていた。いずれの現象もバルブとセンサーの経年劣化が原因であったため修繕を行った。

Q 手話言語コミュニケーション推進協議会委員の構成を伺う。

A 手話言語・障害者コミュニケーション条例のみならず、様々な障害の方の多様なコミュニケーション手段の確保と推進をうたっており、基本的には身体、知的、精神の3障



小型除雪機での除雪作業

害の当事者の方と、その支援に従事している方という観点のもと、条例の8条の区分に従って障害者コミュニケーション支援事業者、手話コミュニケーション手段について優れた意見を有する方、教育関係者、企業関係者に加え、公募委員の方2人を含む計12人の構成である。

Q 小型除雪機購入費補助を活用した町内会を伺う。

A あやめ町内会、押野丸木町内会の2町内会である。



学校の机と椅子

Q 小学校における児童の机及び椅子を更新する際には、再利用できるような状態の良い机や椅子であれば、他の施設で利用する考えはないか。

A 机及び椅子は老朽化したものを更新するため、廃棄処分することを基本としているが、今後は、処分前に利用したい施設などに現物を確認してもらうなど、再利用に向け働きかけを行っていききたい。

Q 施設介護給付費で5,900万円の増額になっていくが、どういった施設が増えたのか伺う。

A 介護保険上の施設介護サービスの中の施設で、増加しているものはそれほど多くはない。施設の数が増えたということではなく、介護老人保健施設の入所者が増えたものと考えている。

Q 公の施設の使用料見直しにおいて、今回の使用料の上乗せは消費税の引き上げによるものであるため、上乗せ分は市の財源となるのか伺う。

A 地方公共団体は消費税を国の維持管理費に消費税が課税されるため、それらを補てんするための引き上げである。

人事

人権擁護委員

松野 俊一(三日市1丁目)



土田 友雄 議員

「市政ふれあいミーティング」の抱負について問う

皆様と向き合い、膝を突き合わせて直接お話をすることを大切にしたい

A **健康福祉部長** ●平成27年度に策定した野々市市食育推進計画（第二次）に基づき、各ライフステージにおけるさまざまな食育施策に取り組んできた。

Q 食育とは食事、食材の知識、食事の環境、食の周辺など、広い視野で「食」について学んだり考えたりすることである。食育は学校だけでなく、家庭、地域をはじめとした社会全般のテーマとして考えることが大事であり、健康を増進し、活気みなぎる明るいまちづくりを実現するための基本と考える。これからの食育についての取り組みを問う。

A **企画振興部長** ●市民協働のまちづくりを進める中、市民の皆様には町内会や各種団体などの枠組みを利用して市の施設などを見学していただきたい。

食育について

市政バスについて

Q 市政バスは、個人では見学しにくいところを町内会単位で視察研修できた、大変行き届いた行政サービスであった。市政バスは再運行をすべきではないか。

A 未定だが、今後検討していく。（環境安全課長）

Q 建設予定の市営墓地公園に本市住民以外の公募は行う予定はあるのか。

A 未定だが、今後検討していく。（環境安全課長）

A **土木部長** ●どのような豪雨に対しても市民の生命、身体を

Q 昔の野々市市は、周りの田園が貯水池の役割を果たしていて安心という一面もあった。しかし、現在は宅地が増え、初期に工事が行われた区画整理地内では、雨水を貯めておくための調整池が設置されていないところもあると聞く。総合的に見て、市の防災体制は何ミリ雨量まで大丈夫なのか。

防災について

出前教養講座マイタウン塾について

Q 平成30年度で廃止となった、マイタウン塾の今後の方向性について問う。

A **教育文化部長** ●マイタウン塾にかわりましてコミュニティカレッジをより充実させることとした。また、町内会独自で講演会等を開催する際、講師の適切な選定や運営についての相談は引き続きお伺いしたい。

今後も、教育機関との連携、インターネットを用いた情報発信などを通じて、食育の推進に取り組んでまいりたい。

A **市長** ●市政ふれあいミーティングに加えまして、講演会や座談会を含めまして、12月までに22回、市民の皆様とお話をする場を設けてさせていただきます。これからも皆様と向き合い、膝を突き合わせて直接お話をすることを大切にしたいと思っております。

Q 成熟したまちづくりには市民と直接対話することにより政治、市政を身近に感じることが大切だと思う。市民と向き合う、開かれた行政をアピールしていただきたい。これからの「市政ふれあいミーティング」の抱負を問う。

市政ふれあいミーティングについて

Q 昨年9月に、防災訓練が実施され、市民の方と一緒に公園に集合して待機していたが、防災無線が鳴らず、拍子抜けした。市の情報の把握と伝達の体制に問題はないか。

A **総務部長** ●迅速に情報をお伝えできるよう、さらなる情報伝達手段の多重化とその周知に努めてまいりたい。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。PCからは、<https://youtu.be/C2C4OoZPEaQ>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

12月 総務産業常任委員会 報告

総務産業常任委員会は12月13日午前10時に行われました。



報告事項

「白山郷斎場の今後」について
白山郷斎場は、昭和56年の建築から38年が経過し、修繕は行っているものの、老朽化が進行している状況にあります。

斎場を共同で運営しております
白山市より、松任斎場（昭和61年建築）も老朽化していることから、改修による長寿命化を図る方法や、新斎場を建設する方法など、今後の方針の検討を始めると伺いました。

く、いずれの方針となった場合でも対応できるよう準備を進めてまいります。総務部長より報告がありました。

報告に対しまして、各委員より質疑がありました。

Q もし新斎場を建設するとすれば、いまのどちらかの場所になるのか。それとも新たな場所も検討の対象になるのか。

A まずは、白山市でこれから議論が本格化するものと思われ、白山市の方針決定を待つこととなります。（総務部長）

委員からのQ&A（要約）

Q 富奥防災コミュニケーションセンターにWi-Fiを配備すべき。

A 市内全域をカバーしている地域BWAの導入を進めたい。（企画課長）

Q HDDからの個人情報流出について、本市は大丈夫か。

A データ消去の際、業者から証明書をもらっている。廃棄の際は職員も立ち会うことにしたい。（企画課長）

Q 建設予定の市営墓地公園に本市住民以外の公募は行う予定はあるのか。

A 未定だが、今後検討していく。（環境安全課長）

12月 教育福祉常任委員会 報告

放課後児童クラブ「たちのクラブ」移転整備

現在使用している施設は、建設から38年経過し、老朽化が著しいことから、保護者が安心して預けられるよう、児童に放課後の適切な遊びと安全に過ごすことができる場を提供します。

施設概要

- ・館野小学校の校庭南側
- ・軽量鉄骨造 地上2階建て
- ・3クラブ 150人規模を想定
- ・スケジュール
- ・令和元年度：実施設計
- ・令和2年度：建設
- ・令和3年4月：開所

通学路安全プログラムの実施

各校が通学路の安全点検を実施し、各校から学校教育課へ危険箇所（33件）の報告を行いました。さらに現地調査が必要と思われる箇所について検討し、通学路安全推進協議会が現地調査（8件）と、具体的な対策についての協議・検討を行いました。

「危険箇所への対応（抜粋）」

- ・横断場所や通学路変更を検討
- ・注意看板や横断旗の設置要望
- ・車止めの交換による対策
- ・地下道入口の建替を実施
- ・安全指導の実施

喜多家住宅 国重要文化財追加指定

主屋北側に接続する旧酒造施設は、江戸時代の終わりから始まった酒造りの場の原型として、今まで良好な状態で残されており、非常に高い歴史的価値を有していることから、このたび重要文化財に追加指定されることになりました。

既指定

主屋、道具蔵

追加指定

作業場、酒蔵、前蔵、貯蔵庫、土地附 麹室、精米所、米置場



酒蔵の内部



大東 和美 議員

魅力ある図書館をさらに居心地の良いものに ～カレードの中に、趣を感じさせる古いものを置いてはどうか～

学びの杜のいちカレードは、若年層が多く住む本市にふさわしい「若々しい街のシンボルを創出する」というコンセプトによってデザインされました

Q 進む高齢化。高齢化率が7%に達した社会を高齢化社会。14%に達し高齢化が安定した社会を高齢社会。さらに21%に達した社会を超高齢社会。日本はすでに2007年に21.5%で、10年以上前に超高齢社会に突入しています。欧米と比較して、日本は高齢化のスピードが速いのが特徴。短期間で対応しなければならぬ現状。本市の高齢化率も来年は

超高齢社会の図書館の役割について

Q 西洋では結婚する時に何か一つ古いものを持っていく風習があると聞きます。図書館に古いものを置いてはどうかお伺いします。
A 市長 ● 「パオ」やブックタワーが趣をまた、緑の広場や豊富な蔵書、夜10時までゆっくり過ごせることから幅広い年代にとって居心地の良い場所になっている。将来においても市民の宝となるような図書館にしたい。

Q 持続可能な社会を目指すSDGs。国際的な動きが環境面でも、リサイクルやリデュース、リソースが大切な時代を迎えます。そのお手本になる図書館であって欲しい。
Q 図書館が「高齢者の社会参加の促進」が「誰かがなる認知症に対する偏見の低減、解消」の役割に「取り組む」という見解を伺う。
A 市長 ● 超高齢社会を迎える中で、図書館においてもその時代のニーズに対応したサービスを柔軟に行っていくことが大切であると考えております。

20%を超えると推測されます。
図書館が「高齢者の社会参加の促進」が「誰かがなる認知症に対する偏見の低減、解消」の役割に「取り組む」という見解を伺う。
A 市長 ● 超高齢社会を迎える中で、図書館においてもその時代のニーズに対応したサービスを柔軟に行っていくことが大切であると考えております。

野々市市認定ブランド品について

Q キウイフルーツの生産量及び担い手確保について伺う。
A 市長 ● 状況打開に市では、平成二十六年より新規にキウイフルーツ棚を設置される農家を対象に、設置費用の一部を補助する制度を創設し、平成三十年度までに十三人の方が制度利用をされ、今年度、一部がワイン向けに出荷開始。今後も、JAのいちと連携し、栽培農家確保に努める。
Q 野々市市認定ブランド品の認定廃止基準設定について伺う。
A 市長 ● 平成三十一年一月に制定しました「野々市市ブランド認定要綱」に基づき認定品の生産、製造、加工又は販売を廃止し、または一年以上中止した場合には認定を取り消す。

社会参加の促進としては、図書館運営を支えるカレードサポーターズクラブ。図書の配架、本の修復、読み聞かせ、イベントの手伝いなど、特技を生かした活動。認知症の問題については、座りすぎの生活習慣の改善や、高齢者の健康増進に関する図書や啓発パンフレットの展示を行いました。また認知症の啓発と相談支援体制の周知を目的とし市民公開講座を開催。今後でもできる限りのことを行ってまいりたい。
Q 各公民館や女性センターにも調理室が設置されていることから、市民学習センターのキッチンスタジオの使用目的を広げてはどうか。
A 教育文化部長 ● 市民が、カレードの料理教室で習った手作りのお菓子等をキッチンスタジオで販売するといった活動は、生涯学習の発表する良い機会と考える。市民からの企画提案を期待し、柔軟に対応したい。

古本で図書館に寄付を募ってはどうか
Q 図書館に貢献したいと思っている人の善意をうけられる仕組みとして、古本募金を行ってはどうか。
A 教育文化部長 ● 本を寄贈することで図書館に貢献したいという市民の方々の厚情を大変ありがたく受け止めています。しかし、お断りさせていただくことが多いため、現状です。今後、どのように生かせるか研究致します。
Q 市民ニーズに合った図書館に育っていくことを期待します。
Q カレードの市民学習センターのキッチンスタジオの稼働率を上げるための今後の対策について
A 教育文化部長 ● 市民が、カレードの料理教室で習った手作りのお菓子等をキッチンスタジオで販売するといった活動は、生涯学習の発表する良い機会と考える。市民からの企画提案を期待し、柔軟に対応したい。

末松廃寺跡公園について

Q 資料館を建設して、市民や子供達の勉強や憩いの場にはどうか。
A 市長 ● 末松廃寺を広く一般の方に周知するための方策のひとつと位置付けをしております。
Q 末松廃寺跡公園を含めた「道の駅」開発について伺う。
A 市長 ● 「道の駅」については、様々な要件や課題が在るため難しいが、今後、末松廃寺跡公園を核とし、市の歴史・特産品の情報発信の手段として有効。

を市街化区域編入の考えはない。
Q 農業施策における他市とのOEMの検討について伺う。
A 企画振興部長 ● 市内の農家の方が所有する市外の農地活用については、生産者とJAとで話し合いをして頂いてから農地活用の検討に入りたい。
Q 六次産業化と野々市認定ブランド品の繋がりについて伺う。
A 企画振興部長 ● 新しい設備を活用し、本市で採れた農産物を原料に、魅力ある商品開発をして頂き、新たな認定ブランド品として成長することを期待します。



向田 誠市 議員

野々市市農業施策を推し進めながら、 末松廃寺跡公園を含めた地域活性化を!!

野々市市認定ブランド品を守りながら末松廃寺跡公園に「道の駅」構想や資料館建設に向けた開発を!!

Q キウイフルーツの生産量及び担い手確保について伺う。
A 市長 ● 状況打開に市では、平成二十六年より新規にキウイフルーツ棚を設置される農家を対象に、設置費用の一部を補助する制度を創設し、平成三十年度までに十三人の方が制度利用をされ、今年度、一部がワイン向けに出荷開始。今後も、JAのいちと連携し、栽培農家確保に努める。
Q 野々市市認定ブランド品の認定廃止基準設定について伺う。
A 市長 ● 平成三十一年一月に制定しました「野々市市ブランド認定要綱」に基づき認定品の生産、製造、加工又は販売を廃止し、または一年以上中止した場合には認定を取り消す。

野々市市農業施策について

Q 農業施策についてどう考えているか。
A 企画振興部長 ● 農業振興は、JAののいちの方々と意見交換会や勉強会等のご意見、ご意向を反映出来るよう心がけ、将来の担い手や農地問題は、市内十一地区の生産者が「農地プラン」を策定し、毎年の見直しに対して支援している。学習会でもご意見、ご意向の観点から、本市全域

を市街化区域編入の考えはない。
Q 農業施策における他市とのOEMの検討について伺う。
A 企画振興部長 ● 市内の農家の方が所有する市外の農地活用については、生産者とJAとで話し合いをして頂いてから農地活用の検討に入りたい。
Q 六次産業化と野々市認定ブランド品の繋がりについて伺う。
A 企画振興部長 ● 新しい設備を活用し、本市で採れた農産物を原料に、魅力ある商品開発をして頂き、新たな認定ブランド品として成長することを期待します。

を市街化区域編入の考えはない。
Q 農業施策における他市とのOEMの検討について伺う。
A 企画振興部長 ● 市内の農家の方が所有する市外の農地活用については、生産者とJAとで話し合いをして頂いてから農地活用の検討に入りたい。
Q 六次産業化と野々市認定ブランド品の繋がりについて伺う。
A 企画振興部長 ● 新しい設備を活用し、本市で採れた農産物を原料に、魅力ある商品開発をして頂き、新たな認定ブランド品として成長することを期待します。

末松廃寺跡公園について

Q 資料館を建設して、市民や子供達の勉強や憩いの場にはどうか。
A 市長 ● 末松廃寺を広く一般の方に周知するための方策のひとつと位置付けをしております。
Q 末松廃寺跡公園を含めた「道の駅」開発について伺う。
A 市長 ● 「道の駅」については、様々な要件や課題が在るため難しいが、今後、末松廃寺跡公園を核とし、市の歴史・特産品の情報発信の手段として有効。

を市街化区域編入の考えはない。
Q 農業施策における他市とのOEMの検討について伺う。
A 企画振興部長 ● 市内の農家の方が所有する市外の農地活用については、生産者とJAとで話し合いをして頂いてから農地活用の検討に入りたい。
Q 六次産業化と野々市認定ブランド品の繋がりについて伺う。
A 企画振興部長 ● 新しい設備を活用し、本市で採れた農産物を原料に、魅力ある商品開発をして頂き、新たな認定ブランド品として成長することを期待します。



一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけません場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/hqGC3hoLxc>



一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけません場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/hcfffKXla-lw>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



岩見 博 議員

白山市へのイオンモール進出で、JR 野々市駅を結節点にコミュニティバスの相互乗り入れを

野々市市、白山市、イオンモールによる三者での話し合いの場を考えていきたい



のんキー(写真右上)とのっティ(同左上) 白山市のめぐー(同左)

Q 白山市横江町地内に北陸最大規模のイオンモールが進出し、イオン御経塚店がなくなれば買い物客の流れが一気にイオンモールの方へと移動することになり、野々市市と地域経済にとっても大きい痛手となる。イオンモールの買い物客に野々市の方に足を運んでもらえるように考える必要がある。中・高・大学生の移動手段を考えるとJR野々市駅は利便性が高いといえる。JR野々市駅を結節点にして、「のんキー」と「のっティ」西部ルートでイオンモールまで延伸するなど、白山市の「めぐー」との相互乗り入れを関係機関と協議する場を設けてはどうか。

Q 調整池設置基準以下の小さな宅地開発で、いつの間にか一帯がアパートや住宅が立ち並び、

調整池設置基準の引き下げを

調整池設置基準以下の小さな宅地開発で、いつの間にか一帯がアパートや住宅が立ち並び、

A 土木部長 ●本市の農地面積は257ヘクタールで、市全体の面積の約19%を占めている。田・畑の貯水能力は、畦の高さを30センチとして77万1千トン、25メートルプールで2236杯分になる。

田・畑の貯水能力77万1千トン、プール2236杯分

Q 一連の豪雨災害を目の当たりにして、農地を守ることの大切さと、田・畑の貯水能力の大きさを認識させられた。本市の田・畑の面積と、貯水能力はどれだけの

農地を守るのがいちばんの水・浸水対策

A 市長 ●イオンモールへの交通手段については、利用者の利便性向上と本市への誘客を図るうえで、検討すべき課題であると考える。白山市と情報共有し、できればイオンモール側の担当者と交えて三者での話し合いの場を持つことも考えていきたい。

Q 調整池設置基準以下の小さな宅地開発で、いつの間にか一帯がアパートや住宅が立ち並び、

教員の長時間過密労働を助長変形労働時間制は導入すべきか

A 土木部長 ●基準の引き下げは、開発面積が小さく、洪水への影響が少ない割に、開発者の負担が大きい。

Q 残業代を支払うことなく、繁忙期に1日8時間週40時間を超えて働かせることができるようにするもので、今でも深刻な平日の長時間過密労働を助長することになる。しかも、一般の労働者にある時間外労働の歯止めもなく、労使協定なしに、自治体の条例で導入できるとしていることも大問題である。恒常的な時間外労働がなくなっていないし、精神疾患で休職を余儀なくされている教員、教員の過労死を目的の当たりしてきた野々市市は変形労働時間制は導入すべきではない。

A 教育長 ●県の判断はまだ聞いていないが、県費負担教員に導入されることになれば、県が定めた条例のもと、市教育委員会ですら導入方法を定める必要があると思っている。



北村 大助 議員

来年度の予算編成においてどのようなことを特に意識して編成するのか

各部署に経常経費である一般財源を3%削減した額を上限とするシーリングを設定し、予算要求に取り組む

財源の確保について

Q 本市の2018年度普通会計決算経常収支比率が、県内ワースト2位でした。財政健全化は喫緊に取り組みなければいけない課題だ。来年度の予算編成においてはどのようなことを意識するのか。

A 市長 ●学びの杜ののいちカレードの施設管理運営費が平成29年度の5カ月分から1年分へと通年度化したことや、小学校給食センター建設事業の元金償還が開始となったことによる公債費の増加などで経常経費が約4億円の増となったため、経常収支比率は前年度から悪化した。今後は社会保障関連経費である扶助費も増加していくものと考えられ、財政が硬直化しないように十分注視していく。まずは、職員全員がこの厳しい財政状況を共通認識として持つことが重要となり、その中で、コスト意識の改善を促すことを目的としまして、各部署に経常経費である一般財源を3%削減した額を上限とするシーリングを設定し、予算要求に取り組んだところで、さらなる事務事業の合理化や行政運営の効率化に努める。

Q 歳出においてはいま一度、各課の予算要求の中に無駄が無いかチェックをお願いしたい。例えば、各課主催事業の意見交換会という名の類で飲食を要する会合が年数回行われているような会合がもしありましたら、費用対効果を十分に検討して回数を見直すなど無くてはならないものなのか真剣に詰めていただきたい。財政に余裕があるが無かるうが税金をお取り扱いする、執行する役人は常に節約の精神を持ち合わせていなければならないと思います。市長・副市長においては、より毅然とした姿勢で来年度予算編成に取り組んでいただきたいことをお願いして関連質問に移る。都市計画税の本来の目的を市民の方々に丁寧に説明した上で、段階的に税率見直しを図るべきと考えるが市長の決意を伺う。

A 市長 ●これまで、企業の呼び水としながら計画的にまちづくりを進めてきました。今後、さらなる都市基盤整備に加え、整備してきたこの都市基盤を適切に維持していくことは大変重要であり、そのためには都市計画税を見直したうえで、活用していくことも重要な視点ではないかと考えております。

| JR野々市駅 乗降客数 | | | | 自動車保有台数 | | | |
|--------------------------------------|-------------|-------------|-----------------|-------------------------------------|-------------|-------------|-------------|
| 年度 | H21 | H26 | H30 | H21 | H29 | | |
| 1日/平均乗降客数 | 2618人 | 3164人 | 3892人 | 36338台 | 40667台 | | |
| 普通(定期外) | 916人 | 1184人 | 1503人 | | | | |
| 定期 | 1702人 | 1980人 | 2389人 | | | | |
| 平成21~29年度は9年連続1日あたり平均乗降客数が増加した。 | | | | 平成21~29年度は9年連続で自動車保有台数が増加した。 | | | |
| 平成29年度は9年前に比べて1154人増加、率にして1.44倍増加した。 | | | | 平成29年度は9年前に比べて4329台増加した。約1.12倍増加した。 | | | |
| 「のんキー」利用状況 JR野々市駅~公立松任石川中央病院 | | | | 「のっティ」乗車状況・財政状況 | | | |
| 年度 | H24 | H30 | | 年度 | H15 | H24 | H30 |
| 1日平均乗車数 | 33人 | 86人 | 53人増/約2.6倍 | 1日平均乗車数 | 243人 | 467人 | 590人 |
| 乗車人数 | 12100人 | 31424人 | 19324人増/約2.6倍 | 乗車人数 | 51348人 | 169819人 | 214742人 |
| 運行経費 | ¥15,678,052 | ¥22,692,359 | 約701万4千円増/1.45倍 | 運行経費 | ¥16,720,000 | ¥57,185,000 | ¥79,815,183 |
| 運賃収入 | ¥2,740,294 | ¥4,602,114 | 約186万2千円増/1.68倍 | 運賃収入 | ¥4,105,000 | ¥17,344,000 | ¥21,462,383 |
| 一般財源投入 | ¥12,937,758 | ¥18,090,245 | 554万1千円増/約1.44倍 | 一般財源投入 | ¥7,015,000 | ¥39,841,000 | ¥58,352,800 |
| 自主財源比率 | 17.48% | 20.28% | 2.8% 増 | 自主財源比率 | 24.55% | 30.33% | 26.89% |
| 一般財源占有比率 | 82.52% | 79.72% | 2.8% 増 | 一般財源占有比率 | 41.96% | 69.67% | 73.11% |
| 補助金交付 | ¥0 | ¥0 | | 補助金交付 | ¥5,600,000 | ¥0 | ¥0 |
| 平成29年度は9年前に比べて1154人増加、率にして1.44倍増加した。 | | | | 一般財源投入は5133万7800円増、約8.32倍 | | | |
| | | | | 平成29年度は9年前に比べて4329台増加した。約1.12倍増加した。 | | | |
| | | | | 1日平均乗車数は347人増、約2.43倍 | | | |
| | | | | 運行経費は6309万5183円増、約4.77倍 | | | |
| | | | | 運賃収入は1735万7383円増、約5.23倍 | | | |



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。PCからは、<https://youtu.be/QfnLe0HC1QE>



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。PCからは、<https://youtu.be/T5QOq3TGAQs>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



梅野 智恵子 議員

子育て支援センター押野の再開予定について伺う

新たに設置される民間保育園を含めた、押野地区全体で考える

Q 御園小学校の児童玄関が、児童数増加に伴い登校時をはじめとする混雑が日常化している。特に雨の日は雨具を脱ぐ下級生の場所が確保されず混雑時は児童同士がぶつかりあい、靴箱の数も足りない現状を踏まえ、スペースの確保が必要と考える。また、御園小学校は野々市市の災害時の避難拠点の一つであることが

御園小学校の児童玄関の現状と学校施設整備について

A 市長 ● 前回応募者が少なかった原因を調査した結果、用地確保が応募を検討する際の課題となっていたことを踏まえ、市が押野地区に用地を確保した上で、借地料についても書類審査時の評価対象に加えるなど公募要領を変更している。

Q 押野地区に民間保育園用地確保をしたことを踏まえ、幅広い周知と名乗りをあげていただくために、事業者選定においてこれまで公表した書類審査、公募要領に緩和事項を設けるなどの変更があるのか伺う。

民間保育施設の再公募における公募要領の内容について伺う

A 市長 ● 創業支援の中で、事務所や店舗の空き物件がない

Q 本市市内での起業・創業支援として、空き家の購入やリフォーム、用途変更を伴うリノベーションに関する助成制度を創設すべきではないか。

A 企画振興部長 ● 今後、空き家のマッチングができる状況が整えば、所有者の意向を踏まえ、全国版への登録も検討していきたい。

Q 全国版空き家・空き地バンクに登録し、空き家の流通活性化に取り組むべきではないか。

A 企画振興部長 ● 管理台帳の所有者情報をもとに、約140件の空き家所有者に対し、直接、空き家バンク制度の周知を行い、空き家バンクの充実を図っていききたい。

野々市市空き家バンク制度

Q 空き家の実態把握を継続的に行うべきではないか。

A 市長 ● 平成29年度に実施した「実態調査」の項目を基本に、市内の住宅事情の変化を注視しながら、適切な時期に実施したい。

かといった相談を受けることが多くある。市内で起業・創業を求める方々への支援策について、創業支援機関の意見を踏まえながら、検討していきたい。

※「野々市市空き家バンク制度」空き家を所有し、賃貸や売買を希望される方が、空き家バンクに登録し、市のホームページに物件を掲載することで、空き家の利用希望者へ情報を提供するもの。

小学校のプログラミング教育

Q 令和2年度より全面实施されるプログラミング教育を、どのような考え方で進めるのか。

A 教育長 ● 情報活用能力の育成のため、プログラミング的思考、すなわち、「プログラミングを体験しながらコンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力」を各教科の特質に応じて育成することが重要だと考えている。

Q カリキュラム編成と、教材選定は進んでいるのか。

A 教育長 ● プログラミング教育が児童の発達の段階に応じ

ら、避難市民にとっても間口と体育館につながる廊下の狭さで大混雑されると予想される。子供達の緊急避難経路の確保と災害時の避難場所としての役割を果たす観点から、実際ご覧になった所見を伺う。また子供達が健やかに育つ教育の場として市内小中学校の今後における学校整備をはじめとした教育予算の確保をどのようにお考えか所見を伺う。

A 教育長 ● 玄関の利用方法の見直し、配置の変更なども今後検討してまいりたい。また、突発的な状況におきましてもその都度予算を補正し、適切な対応をしてきた。引き続き、児童生徒が快適に学べるよう、計画的で迅速な教育予算の確保に努めてまいりたいと考えております。

Q 子ども110番の家について

Q 現在野々市市内の登録の内、コンビニエンスストアやガソリンスタンドなど事業者と民家の登録がそれぞれ何軒ずつとなっているのか伺う。

A 教育文化部長 ● 事業所が199軒、民家が7軒、計199軒掲載されている。

Q 本市学校指導で子供たちや保護者たちに子ども110番の役割や場所への周知をどのようにされているのか伺う。

A 教育文化部長 ● 小学校では、全校集会や学級指導、町単位での指導などの機会を捉え、子ども110番の家とはどのようなものか、児童に説明している。警察がそれぞれの小学校に対して校区にある子ども110番の家の名簿を渡している。PTAで活用したり町ごと、学校ごとに周知に努めている。

Q 他県の自治体の取り組みの防犯安全対策を、地域ネットワークの強化をはじめ、啓発、発信など本市でできることを推進するべきとお考えか所見を伺う。

A 教育文化部長 ● 防犯に関しては不審者が発生したとき、必要な情報が確実に伝わるための緊急連絡ネットワークが整備されている。また本市には「のいちっ子を育てる」市民会議をはじめとしたネットワークが構築され強化が図られている。今後子供から大人まで全ての市民にとって安全安心なまちづくりが進むよう働きかける。

一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。PCからは、<https://youtu.be/z1tPzkArBxA>



一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



馬場 弘勝 議員

起業・創業支援として、空き家の購入やリフォーム等の助成制度を創設せよ

創業支援機関の意見を踏まえながら、検討していきたい

Q 本市市内での起業・創業支援として、空き家の購入やリフォーム、用途変更を伴うリノベーションに関する助成制度を創設すべきではないか。

A 企画振興部長 ● 今後、空き家のマッチングができる状況が整えば、所有者の意向を踏まえ、全国版への登録も検討していきたい。

Q 全国版空き家・空き地バンクに登録し、空き家の流通活性化に取り組むべきではないか。

A 企画振興部長 ● 管理台帳の所有者情報をもとに、約140件の空き家所有者に対し、直接、空き家バンク制度の周知を行い、空き家バンクの充実を図っていききたい。

野々市市空き家バンク制度

Q 空き家の実態把握を継続的に行うべきではないか。

A 市長 ● 平成29年度に実施した「実態調査」の項目を基本に、市内の住宅事情の変化を注視しながら、適切な時期に実施したい。

かといった相談を受けることが多くある。市内で起業・創業を求める方々への支援策について、創業支援機関の意見を踏まえながら、検討していきたい。

※「野々市市空き家バンク制度」空き家を所有し、賃貸や売買を希望される方が、空き家バンクに登録し、市のホームページに物件を掲載することで、空き家の利用希望者へ情報を提供するもの。

小学校のプログラミング教育

Q 令和2年度より全面实施されるプログラミング教育を、どのような考え方で進めるのか。

A 教育長 ● 情報活用能力の育成のため、プログラミング的思考、すなわち、「プログラミングを体験しながらコンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力」を各教科の特質に応じて育成することが重要だと考えている。

Q カリキュラム編成と、教材選定は進んでいるのか。

A 教育長 ● プログラミング教育が児童の発達の段階に応じ

ら、避難市民にとっても間口と体育館につながる廊下の狭さで大混雑されると予想される。子供達の緊急避難経路の確保と災害時の避難場所としての役割を果たす観点から、実際ご覧になった所見を伺う。また子供達が健やかに育つ教育の場として市内小中学校の今後における学校整備をはじめとした教育予算の確保をどのようにお考えか所見を伺う。

A 教育長 ● 玄関の利用方法の見直し、配置の変更なども今後検討してまいりたい。また、突発的な状況におきましてもその都度予算を補正し、適切な対応をしてきた。引き続き、児童生徒が快適に学べるよう、計画的で迅速な教育予算の確保に努めてまいりたいと考えております。

Q 子ども110番の家について

Q 現在野々市市内の登録の内、コンビニエンスストアやガソリンスタンドなど事業者と民家の登録がそれぞれ何軒ずつとなっているのか伺う。

A 教育文化部長 ● 事業所が199軒、民家が7軒、計199軒掲載されている。

Q 本市学校指導で子供たちや保護者たちに子ども110番の役割や場所への周知をどのようにされているのか伺う。

A 教育文化部長 ● 小学校では、全校集会や学級指導、町単位での指導などの機会を捉え、子ども110番の家とはどのようなものか、児童に説明している。警察がそれぞれの小学校に対して校区にある子ども110番の家の名簿を渡している。PTAで活用したり町ごと、学校ごとに周知に努めている。

Q 他県の自治体の取り組みの防犯安全対策を、地域ネットワークの強化をはじめ、啓発、発信など本市でできることを推進するべきとお考えか所見を伺う。

A 教育文化部長 ● 防犯に関しては不審者が発生したとき、必要な情報が確実に伝わるための緊急連絡ネットワークが整備されている。また本市には「のいちっ子を育てる」市民会議をはじめとしたネットワークが構築され強化が図られている。今後子供から大人まで全ての市民にとって安全安心なまちづくりが進むよう働きかける。

一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。PCからは、<https://youtu.be/z1tPzkArBxA>



一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。PCからは、<https://youtu.be/HQaybQsdx1A>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



安原 透 議員

旧北国街道歴史的町並みの景観を守るための、景観条例制定について伺う

景観条例制定だけではなく有効な方策がどうあるのかを含め、市民と一緒に検討したい

北国街道にぎわい創出プロジェクト
北国街道にぎわい創出プロジェクト

Q 旧北国街道景観条例の策定について伺う。

A 市長 ● 歴史的な街並みを維持し価値を上げていくためにも、残された古民家が失われていくことを防ぐとともに、現代の建物をいかに歴史的な街並みと調和のとれたものとして残していくことが重要であるかと認識している。景観条例を設定する方法もあるが、様々な制約もあることから、事例を踏まえ、歴史的な景観を維持していく方策を市民の皆様と共に考えたい。

Q 歴史的な町並み保存と再生は時間との戦いである。北国街道のにぎわい創出と魅力を磨いていくことにもつながる。「歴史的町並みの保存と再生」につなげるための景観条例の策定について伺う。

A 市長 ● 歴史的な街並みを維持し価値を上げていくためにも、残された古民家が失われていくことを防ぐとともに、現代の建物をいかに歴史的な街並みと調和のとれたものとして残していくことが重要であるかと認識している。景観条例を設定する方法もあるが、様々な制約もあることから、事例を踏まえ、歴史的な景観を維持していく方策を市民の皆様と共に考えたい。

Q 魅力ある新製品・新技術が応募される為にも、支援内容を含め応募要項の見直しも必要になるかと考えるがいかがか。

A 市長 ● ブランド認定制度はこれまで3品目を認定している。この制度の対象は農産物、加工品、工業製品、工芸品など幅広い産品を対象としている。

Q 来年度以降の事業内容とその効果について、伺う。

A 市長 ● 庁舎内で新しい事業を生み出していくために庁舎内を横断した関係者で構成した定期的な連絡会議において、より具体的な連携事業について協力、進めてきた。来年3月には「花と緑ののいち椿まつり」開催口にあわせてカミノノと北国街道を会場としてにぎわい創出のイベントの計画を企画している。カミノノが市民の皆さんにとって活躍、発信の舞台になっていく期待もこめて考えていきたい。

Q 本市野々市ブランド認定制度においてもっと幅広い分野に間口を広げた認定制度にすべきと考えるがいかがか。

A 市長 ● ブランド認定制度はこれまで3品目を認定している。この制度の対象は農産物、加工品、工業製品、工芸品など幅広い産品を対象としている。

Q 2023年開業予定の北陸新幹線金沢―敦賀間 本市新幹線防音壁について

A 市長 ● 今後、それぞれの時代、状況に応じて意欲を持って制度として発展できるように柔軟に対応していく必要があると考えている。

Q 本市を通過する北陸新幹線を市民の皆さまが見ることの出来るように今設置されている防音壁を透明防音壁に改修をすべきである。本市として市民の皆さまに北陸新幹線の見える場所を創るべきだと考える。粟市長の所見を伺う。

A 市長 ● 本市を北陸新幹線が走行する約1キロメートルの区間においては市街地が多いことから防音対策は必須でありいろいろな意見を伺い現在の防音壁が設置されている。また、新幹線が通過する姿を見たりといった要望が多く、市民がお持ちであるというふうには今のところ認識していない。透明なものに改修するとなれば、安全の確保の為、夜間工事になり相当困難なものになることや、工事にかかる膨大な費用を市が負担することからも、きわめて困難であると考えている。

一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけません。
PCからは、 <https://youtu.be/C5znaKSo068>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



西本 政之 議員

市役所庁舎内の設定温度を見直せ

二酸化炭素排出量の増加が見込まれる事から、現在のところ考えてはいない

Q 市役所庁舎内の設定温度は、環境省が2005年から地球温暖化対策のために推奨した、夏場28度、冬場19度となっています。そんな中、兵庫県姫路市が夏場の温度設定を28度から25度に引き下げました。業務効率が向上し、前年同月比で人件費が約4000万円削減された一方、温室効果ガスの排出量は微増にとどまったという検証結果が公表されています。本市の場合、庁舎の吹き抜け構造とガラス張り構造が温度管理を難しいものになっている面もありますが、来庁者も職員も快適に過ごせる庁舎にするために、庁舎内の設定温度の見直しをすべきと考えます。

A 総務部長 ● 地球温暖化対策の一環として国が推奨するクーリング、ウォームアップの取り組みを実施していることから、夏場は28度、冬場は19度となるよう空調管理をしています。なお、外気温や日差し、湿度などの諸条件や庁舎の吹き抜け構造により温度差が生じるときは、時間帯に応じて風量を調整したり、日差しが強い部分にはロールスクリーンを設置し、特に熱が滞留しやすい3階には扇風機、サーキュレーターを

設置するなど、きめ細かい対策を講じています。温度設定の変更については、電気や重油などエネルギー使用量の増加が見込まれ、二酸化炭素排出量が多くなることから、現在のところ考えていません。今後、様々な方法を検討し、来庁者や職員が快適に感じられる庁舎環境の整備に努めていきたいと思っております。

Q 「放課後児童クラブ」について

Q 数年前に、「放課後児童クラブ」が小学校の敷地の一角に移転した際、予想を上回る希望者が出て、子ども一人当たりの面積が十分に確保できなくなったことや、お迎えの保護者の駐車スペースが十分ではなく、路上に車があふれて近隣住民から苦情がきたりしました。「放課後児童クラブ」も小学校の敷地の一角に移転する計画ならば、すぐはらの前例を生かして設計、建築をすべきと考えます。

A 市長 ● 「放課後児童クラブ」は現在、JAの施設を借りて運営しています。この施設は、築38年が経過し老朽化が進んでいることや、放課後児童クラブとして建設されたも

のでなく、使い勝手が悪いことなどから、より利便性の高い小学校の敷地内に新たな施設を建設するための設計費を計上しました。現在の2クラブから3クラブへ増やすことで、150名程度まで受け入れ可能な施設とし、避難経路や駐車スペースにも十分配慮したいと考えています。

Q 学校現場の抱える問題

Q 来年度から小学校の英語が教科化されることから、各校に1名の英語専科の教員を配置すべきと考えます。

A 教育長 ● 現在、1校に1名配置されており、国は来年度も増員する方針というところで、本市も増員できるように、県教委と調整を図っていきたくと考えています。

Q 英語教育やプログラミング教育など業務量が増加していることから、教職員や支援員、司書、スクールサポートスタッフ等を増員すべきと考えます。

A 教育長 ● 今後も学校の実態に応じて、また学校の要望に沿った適正な配置ができるよう、増員を検討したいと思っております。

一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけません。
PCからは、 https://youtu.be/tpXufyGtF_Y

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



小堀 孝史 議員

本庁舎で傷害事件が発生した場合に、警察に自動通報する装置の導入を！

公立の保育園には非常通報装置を設置中！ 自転車道は、自転車活用推進計画を策定して検討！

災害対策について

Q 昨年3月に、金沢市役所で発生した外部侵入者による傷害事件を受け、野々市市役所で「刃物を持った外部からの侵入者」を想定した防犯訓練を4月5日に実施しております。この訓練では、現場で椅子や刺股で対応する人、110番へ通報する人等の訓練に併せて、刺股を各階に増設配備するなど、今後の対策も実施したことは大変良かったと思います。

事件発生時に職員がスイッチを押すだけで警察へ緊急通報できるような、各棟の適切な場所に「非常用通報装置」を導入する考えはないか伺います。

また、多くの市民が利用する保健センターやカレード・カミノ、市民体育館、保育園などに「非常用通報装置」を導入する考えはないか伺います。

A 総務部長 ● 近年、公共施設における不審者侵入事件や傷害事件が発生していることから、防犯対策の実施は非常に大切であると考えております。

本庁舎の防犯対策は、建物は吹き抜けの構造であり、事件発生時には迅速に現場の状況を確認できる状態にあります。さらに、防犯効果のある防犯力



メラも今年度から増設しております。また、庁舎以外の市内公共施設においても、同様に視認性の良いレイアウトを採用し、防犯カメラや電子錠の設置、防犯訓練の実施など必要な対策を講じております。非常用通報装置の導入については非常に有効と考えておりますので、公立の保育園全てに設置してまいります。他の公共施設でも、各施設の利用状況等を考慮して必要と思える施設については設置を検討してまいりたいと考えております。

自転車通行環境の整備について

Q 私たちが暮らす野々市市は市内全体がコンパクトな平坦な地形であります。自転車を使用する1周1時間程で移動可能な、快適な自転車通行環境であります。そこで本市では、第一次総合計画を補完する、分野別計画の1つとして「自転車ネットワーク計画(仮称)」を策定することとしています。この「自転車ネットワーク計画(仮称)」の策定に向けた進捗状況を教えて頂きたい。

また、高校生と中学生が自転車通学等で利用しているところの、南北に流れる林口用水と木呂川沿いに設置されている自転車歩行者専用道などがあります。今後、車道部における、自転車専用通行帯の設置などの整備計画がありましたら教えて頂きたい。

A 市長 ● 本市ではこれまで、大規模な学連携制度を活用して研究テーマとして、アンケートや交通事象に関する調査等実施してきました。その結果課題も多く見つかり、まずは自転車活用推進計画を策定して、全庁横断的なWGで検討を進めたいと考えております。



一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/id6nZ1K7UhQ>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

意見書を採択しました

12月定例会最終日に議会議案第5号「台風第19号をはじめとする、一連の台風・豪雨災害による被災者・被災地への支援強化を求める意見書」を野々市市議会会議規則第14条の規定により提出、全会一致を持って可決されました。

主な内容は次の通りです。
「対策パッケージ」をはじめとした支援情報が、被災者に迅速かつ確実に提供されることを重視するとともに、被災者の相談に即応する体制を確立すること。支援メニューの実施主体とされる市町村では深刻な職員不足が指摘されており、被災自治体任せにせず万全を期すこと。

被災住宅の被害認定は、浸水や堆積土砂の深さだけで画一的におこなうのではなく、柔軟で弾力的な運用を周知するとともに、住宅再建支援制度を改善していくことを検討すること。復興途中での被災自治体に対する支援は柔軟におこなうこと。

議会運営委員会 行政視察報告

議会運営委員会は令和元年11月18日より20日まで宮城県栗原市、青森県八戸市、右手県奥州市、宮城県富谷市へ主に議会改革の取り組みについて行政視察を行いました。

野々市市は市制施行後8年目となりました。市議会も議員定数削減やこども議会の開催、一般質問における一問一答方式の採用、また昨年は議会提出の手話言語条例の制定も行いました。更に市民に開かれた活力の有る議会を目指し先進地に学んで来りました。

栗原市は平成の大合併により大きな市域となったことにより、各地域でのバランスを取って議会報告会や広報活動を行っています。議場においては経年劣化で不安定となっていた映像・音響システムの大規模改修が行われていました。

八戸市議会では議会基本条例に則り、年度ごとに2回の議会報告会及び市民との意見交換を行っていること、また事前案内の方法や事後報告について説明を受けました。

奥州市議会では議会中継に注力しており、議場システムの充実に伴いライブ中継はもとより、録画中継検索が可能となりPC、スマホ、タブレット、ケーブルテレビにより随時視聴可能となっています。また議場では電子表決システムも採用しています。

富谷市は野々市市より5年遅れて単独市制を敷いた市ですが議会活性化に関する取り組みが進んでいます。



みが進んでいます。また内陸で有りながら東日本大震災で大きな被害を受けたことから、富谷市議会災害行動指針に基づく市議会災害行動マニュアルを策定していました。また議場では電子表決システムも採用しています。

野々市市議会がこれから取り組むべきことは多々ありますが議会報告会、公聴会、各種団体との意見交換会等が先ず上げられます。9月定例会では議会改革・活性化特別委員会も設置されました。その中での議論を踏まえ、課題解決を目指して議会運営委員会でも努力していかねばならないと思います。

2つの特別委員会を設置しました

常任委員会の枠を超えて、広く調査・審査するために、2つの特別委員会を設置しました。

◆議会改革・活性化特別委員会

委員長

早川 彰一

副委員長

西本 政之

委員

梅野 智恵子、安原 透

土田 友雄、大東 和美

岩見 博

【所管事項】

- ・議会改革に関する事項
- ・議会の活性化に関する事項

◆体育施設等に関する調査特別委員会

委員長

辻 信行

副委員長

北村 大助

委員

朝倉 雅三、小堀 孝史

向田 誠市、馬場 弘勝

杉林 敏

【所管事項】

- ・体育施設等の整備に関する事項
- ・体育施設等の管理運営に関する事項



野々市市民体育館

3月定例会の予定

会期：3月3日(火)～26日(木) (24日間)



| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|-----------------------------|-----------------------------|---|-----------------------------|----|----|
| 1 | 2 | 3 午前10時～ 本会議 開会 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 8 | 9 | 10 午前10時～ 本会議 一般質問 | 11 午前10時～ 本会議 一般質問 | 12 午前9時30分～ 予算決算常任委員会 | 13 | 14 |
| 15 | 16 午前9時30分～ 予算決算常任委員会 | 17 午前9時30分～ 予算決算常任委員会 | 18 午前10時～ 総務産業常任委員会 午後2時～ 教育福祉常任委員会 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 各特別委員会 | 24 午前10時～ 予算決算常任委員会 | 25 | 26 午後2時～ 本会議 閉会 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | 31 | | | | |

本会議は市役所3階議場にて行います。議場前で受付を行いますので、お気軽に傍聴にお越しください。